

クラシック音楽が充満する岩盤をくり抜いたアトラス・ピークにある新ワイナリーからコングスガードの更なる伝説が生み出される

カリフォルニア・シャルドネ5本指と言え、マーカッシン、キスラー、ピーター・マイケル、オーベールそしてコングスガード。最上級シャルドネ「ザ・ジャッジ」は自社畑から造られるマニア垂涎の逸品である。ジョン・コングスガードの造るワインは、選び抜いたベストの区画から、極端なまでの低収量、天然酵母のみを使い、低温のセラーで長い時間をかけて醗酵を待つ。ノン・フィルター、ノン・ファイニング（人工的な清澄作業をしない）。今では当たり前と言われるが最新鋭の化学設備で行うのではなく、ほぼ手作業。リスクの大きな造り方である。眼鏡にかなう葡萄が出来なければそのワインを造らない。満足の行くクオリティーでなければ年により生産量が極端に変わる。自然によると言うよりも、ジョン・コングスガードのフィルターによりワインは造られていく。その厳しさが多くの信望者を集める由縁である。



限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量	希望小売価格	摘要
	Chardonnay / Napa Valley シャルドネ ナパ・ヴァレー	Napa Valley	白	2021	750	¥38,000	在庫僅少
ナパ・ヴァレーを代表する二つの畑の葡萄から造られる。コングスガードの創業時から造り続けている代表作。その生産量は年産約1000ケース程度。日本に入荷してもすぐ完売してしまう貴重なワイン。二つの畑は両方共ナパ・カーネロスにある、ハドソン・ヴィンヤード(2/3)とハイド・ヴィンヤード(1/3)、二つの個性が競演する。							
	Chardonnay The Judge / Napa Valley シャルドネ ザ・ジャッジ ナパ・ヴァレー	Napa Valley	白	2021	750	¥98,000	限定品希少のみ入荷 完売
カリフォルニア最高峰シャルドネは一言だけでは語りつくせない表現力を秘める。一口目は果実の爆発！その後、語り出す豊富なミネラルと緊張感ある個性。カリフォルニア・シャルドネ5本指と言え、マーカッシン、キスラー、ピーター・マイケル、オーベールそしてコングスガード。トップ・キュヴェ「シャルドネ ザ・ジャッジ」は自社畑から造られるマニア垂涎の逸品。生産量は多くても15樽（約300ケースのみ）。少ない年は5樽（100ケースのみ）しか造らない程の希少品。							
	Syrah / Napa Valley シラー ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2018蔵出	750	¥60,000	限定数 18VTG蔵出 僅少
冷涼シラーの代名詞「ハドソン・シラー」をジョン・コングスガードがセレクト。パーカー曰く「北ローヌ、コート・ロティ〜エルミタージュを彷彿させるカリフォルニア・ベスト・シラー。」シガー、ビターチョコ、なめし皮、胡椒、クロウヴ、炭、しっとりとした黒い土など第2次アロマが現れる。タンニンはソフトで、長い余韻がおだやかに続く。厳しいまでに硬く詰まった緊張感とリッチでフルボディーの果実味を併せ持つ。							
商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量	希望小売価格	摘要
	KINGS FARM / Red Wine Napa Valley キングスファーム レッド・ワイン ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2018蔵出 2020	750	¥18,000 ¥18,000	限定数 18VTG蔵出 僅少 20VTG 在庫僅少
メイリング・リストの重要顧客のみにリリースされていたコングスガードのセカンド・セレクション。Cabernet Sauvignon 主体。2020年はカーネロスのハドソン・ヴィンヤードから冷涼カベルネとなる。通年はアトラス・ピークの自社畑と近隣の契約農家の葡萄から造られるが、2020年は山火事の煙害の為、別の畑から調達した貴重なカベルネとなる。コングスガードと全く同じ醸造方法。濃く凝縮しながらもシルクのようなきめ細かい口当たりを持ち、冷涼カベルネらしい引き締まった骨格を持つ。コングスガードらしい筋肉質でがっしりした酒質も十分に受け継いでいる。							

コ ン グ ス ガ ー ド

K O N G S G A A R D

"John Kongsgaard is in search of the Holy Grail"

アレックス・コングスガード（息子）&ジョン・コングスガード（父）
Wine Spectator 撮影より

コングスガード KONGSGAARD



"John Kongsgaard is in search of the Holy Grail and these are among the most interesting, naturally made wines one will find on Planet Earth" Robert Parker, The Wine Advocate

ロバート・パーカー曰く

「ジョン・コングスガードが探究する聖杯は、地球上で人々が求めて止まない自然が造りたもう究極のテロワール・ワインの体现である。」



アレックス・コングスガード（息子）&ジョン・コングスガード（父）
Wine Spectator 撮影より

2021 年度リリースコメント by アレックス&ジョン・コングスガード

2019 年もまた 2018 年に続き素晴らしい優雅な出来栄のヴィンテージとなりました。ここ数十年にわたり、コングスガードのスタイルは明確に確立され、世界的に高い評価を受けてきました。そのスタイルとは偉大なフランスの先達からインスピレーションを受けながらも、ここナバ・ヴァレーのコングスガードが持つユニークなテロワールがワインに明確な影響を与えています。皆様が私たちに何を期待しているか良くわかります、それは「固有の凝縮感やミネラル感」でしょう。2020 年～2021 年はコロナ禍であった為に、ワインジャーナリストがパレル・テイस्टィングにワイナリーを訪れられませんでした。故に 2021 年にリリースするワインの評価は出ておりません。そのためワインをリリースする今、彼らのいつもの「恥ずかしいほどの誉め言葉」を引用することができません。ですので今回は個別ワインの説明は行いませんが、この素晴らしい 2021 年リリースを楽しんでいただけると確信しています。

この 1 年コングスガードでは大変厳しい年となりました。2020 年 6 月に、妻であり母であるマギーが亡くなってしまいました。マギーは「大胆不敵なリーダー」と呼ばれており、25 年前 1996 年にコングスガード・ワインをスタートさせたのは、彼女の先を見通すビジョン、勇気、想像力の幅の深さがあつたからです。ジョンとマギーは 1979 年に結婚した時から常に自身のワイナリーを始めることを計画していたのです。彼女の明晰なリーダーシップにより、ワイナリーはゆっくりと現在の生産量 3500 ケースにまで成長しました。2004 年にはアトラス・ピークに土地を購入、2006 年には洞窟を掘り醸造施設を作り、自宅を作り、5 ha の自社畑を作ることができたのは、マギーのおかげです。

彼女は私たちに明確な使命を残してくれました。そして私たちは、彼女の温かさやウィットに富んだ独特のリズムを、常に心の中に留めながら進んでいます。息子のアレックスは、ザ・ジャッジの畑の 4 代目オーナーとなり、ワイナリーを率いるようになりました。ジョンとアレックスは 2006 年以降一緒にワイン造りを行ってきました。70 歳になったジョンは、今やアレックスのアドバイザーとして全体を見ています。親子が世代を継ぐことはナバ・ヴァレーでは数少なくなっていますが、コングスガードではうまく継承されていきます。

2020 年 6 月のマギーの死に続き、8 月には火災が発生しました。アトラス・ピークの自社畑は火災を免れましたが、煙害から収穫は諦めました。幸いなことに、ザ・ジャッジの畑とカーネロスの契約畑の葡萄は無事でした。このワインに関しては、来年に詳しくご紹介します。



2016 年コングスガードの自宅前にて撮影/左から故マギー、ジョン、アレックス

コングスガード

リスキーな方法＝葡萄の力を尊重し、厳しいまでの環境下で人力の介入を減らし、自然に任せる。完成形は少量のみ。

ジョン・コングスガードが造るワインは、選び抜いたベストの区画から、極端なまでの低収量、天然酵母のみを使い、低温のセラーで長い時間をかけて醗酵を待つ。ノン・フィルター、ノン・ファイニング（人工的な清澄作業をしない）。今では当たり前のように言われるが最新鋭の化学設備で行うのではなく、ほぼ手作業。リスクの大きな造り方である。眼鏡にかなう葡萄が出来なければそのワインを造らない。満足の行くクオリティーでなければ年により生産量が極端に変わる。自然によると言うよりも、ジョン・コングスガードのフィルターによりワインは造られていく。その厳しさが多くの信望者を集める由縁である。Arietta/アリエッタの共同経営権を手放し、得た資金を元に、アトラス・ピークの山奥に土地を購入。斜面の岩盤を自らと息子アレックスや家族の手で掘削し、迷路のようなワイナリーを建設。2006VTG からこの新しいワイナリーで全てのワイン造りを行っている。隣接したナパ・ヴァレーを見下ろす自社畑には、2006 年から徐々に植樹、斜面に合わせて様々な台木、クローンを組み合わせて、各品種が植えられている(約 5ha)。

息子のアレックスと共に、栽培・醸造にあたる。畑の中に建てられた自宅は園芸家である故・妻マギーが丹精を込めた草木花々に囲まれている。新しい環境を経て、これからコングスガードの伝説は家族の中に、信望者のワインの中に引き継がれていく。

クラシック音楽が充満する岩盤をくり抜いたワイナリーからコングスガードの伝説が生み出される (訪問した日はベト7/ベートーベン交響曲7番)



森の下は岩盤をくりぬいたワイナリー。迷路の様に入り組んだ内部。選果台、プレス機、醗酵槽、樽、葡萄が持ち込まれれば全てこのセラー内で完了する。



ジョンとアレックス親子が小型最新鋭の掘削機を使って掘ったが何度も固い岩盤に当たり、設計変更。アトラス・ピークの自社畑からナパ市街、サン・パブロ湾を望む

ワイン・ポートフォリオ (年産 3,500 ケース程)
祖先の国ノルウェーの神話をモチーフにしたラベル

～ 白 ～
シャルドネ ザ・ジャッジ ★限定数のみ
(自社畑 クームスヴィル)
シャルドネ ナパ・ヴァレー
(契約畑 ハドソン&ハイド カーネロス)
アルバリーニョ(2011年 VTGより開始) ★限定数のみ
(契約畑 ハドソン カーネロス)
ヴィオニエ (2017VTGより開始) ★限定数のみ
(自社畑 クームスヴィル+アトラスピーク)
ソーヴィニオン・ブラン (2018VTGより開始) ★限定数のみ
(自社畑 アトラスピーク)
～ 赤 ～
シラー ナパ・ヴァレー
(契約畑 ハドソン カーネロス)
カベルネ・ソーヴィニオン ナパ・ヴァレー
(契約畑 アトラス・ピーク)
メルロ ナパ・ヴァレー
(契約畑 アトラス・ピーク) ★限定数のみ
ザ・フィマサウラス (CS & メルロー)
★特注 ★限定数のみ
★セカンド「キングス・ファーム」 Ch & Red wine



ワイン・スペクテーター2014年7月号の表紙
コングスガードの特集



KONGSGAARD

ブルゴーニュのコピーでなく、カリフォルニアの典型とも違う。リスクな方法で独自の味わいを切り開く。

ジョン・コングスガードは、若かりし日に目指したクラシック音楽家としての将来を断念し、ナパ・ヴァレーに5世代続く稼業（土地に根差した農業、造園業、岩切り出し業）を家族と共に継いでいくことを妻・マギーと共に決断したのが1970年代。ナパ市街にほど近い Coombsville/クームスヴィルの山頂にある祖父が岩を切り出し販売する稼業を行っていた土地を開墾し、白品種の葡萄を植樹した。アンドレ・チェリチェフから「岩だらけで、遮るものもない丘の上、強い風が通るこの土地から、絶対無二のものが出来る」とのアドバイスを受けたからである。その畑は、判事であった父に敬意を表し“The Judge Vineyard/ザ・ジャッジ・ヴィンヤード”と名付けられ、ここから伝説のワインが生み出されることになる。

1996年コングスガードとして初ヴィンテージをリリース。自社畑だけでなく、ナパ・ヴァレーの中でも最高の畑のオーナーたちと契約を結び、オーダーメイドで葡萄を注文する（低収量に制限する）ことを始めた第一人者でもある。コングスガードのワインを造る傍ら、Newton, Luna, Livingstone, Ariettaなどでワインメーカーを務め、名声は広く知られるようになる。一緒に働いたり、アシスタントをしたり、たった一年、ひとシーズンだけでも彼に関わった人々は、彼の曲げないワイン造りにおける信念、人生観、シリアスながら大きく人を包み込むようなオーラを放つ彼から、多くを学び、大きな影響を受け、師と仰ぎ、その影響は伝播していく。

Six degrees of John Kongsgaard/ジョン・コングスガードの人脈図

<関わる人々&師事した人々>



George Varp/ジョージ・ヴァープ
ルナ・オーナー
(CAでのイタリア品種のパイオニア)



Friz Hatton/フリッツ・ハットン
アリエッタ・オーナー
オークショニア
(アンディ・エリクソンが造る)



Annie Favia & Andy Erickson/
アンニー・ファヴィア&アンディ・エリクソン
栽培家・ワインメーカー
ファヴィア、オーヴィッド、マヤカマス



Steve Matthiasson/
スティーヴ・マサイアソン
注目の若手ワインメーカー
イタリア土着品種のブレンド
を得意とする



Abe Schoener
エイブ・ショナー
革新的なワイン造り
やコンサル
スコリウム・
プロジェクト

ジョン コングスガード
John Kongsgaard



Blair Walter/
ブレア・ウォルター
ワインメーカー
フェルドン・ロード
(New Zealand)



Luc Morlet/リュック・モレ
オーナー・ワインメーカー
モレ・ファミリー・ヴィンヤード



Christina Pallmann/
クリスティーナ・パルマン
ワインメーカー&コンサル
コイン・ベルデュ・ワインズ



Nicole Abiouness/
ニコール・エビアネス
ワインメーカー
エビアネス・ワインズ



Christopher Vandendriessch
クリストファー・
ヴァンデンドリーシュ
ワインメーカー
ホワイト・ロック・ヴィンヤーズ
ハドソン・ヴィンヤーズ



Nick Peay/
ニック・ペイ
栽培担当
ペイ・ヴィンヤード



Aaron Pott/
アaron・ポット
ワインメーカー
クインテッサ、ブラックバー
ド



Chris Weidemann/
クリス・ウェイデマン
ワインメーカー
ベリン・ワインズ



Trent Moffet/
トレント・モフエット
ワインメーカー
モフエット・ヴィンヤーズ
リヴィングストーン



Evan Frazier
エヴァン・フレイジャー
ワインメーカー
ファーディナンド



Lee Hudson/リー・ハドソン
オーナー
ハドソン・ヴィンヤーズ



Larry Hyde/
ラリー・ハイド、オーナー
ハイド・ヴィンヤーズ

コングスガード

カリフォルニア・シャルドネの5本指と言え、コングスガード、オーペール、マーカッシン、キスラー、ピーター・マイケルと言われています。コングスガードの最高級シャルドネ「ザ・ジャッジ」は自社畑から造られるマニア垂涎の逸品であるが、その生産量は多くても15樽（約300ケースのみ）。少ない年は5樽（100ケースのみ）しか造らない程の希少品。カーネロスの最高級畑の二つハドソン＆ハイド・ヴィンヤードから造られるシャルドネ ナパ・ヴァレーも輸入早々に完売してしまう貴重品。2020年8月の終わりと9月後半に起きた2度の山火事によりナパ・ヴァレーの一部の地区で大きな被害を受け、コングスガードもアトラス・ピークの自社畑では被害を受け、すべての赤ワイン用葡萄の収穫をあきらめざるを得なかった。しかしながら、クームスヴィルの自社畑ジャッジ、カーネロスの契約畑ハドソン＆ハイドは被害を逃れることができ、またジョン・コングスガードの人的コネクションにより被害の無かった地区の素晴らしい葡萄の供給を受けることができた。日本に輸入されるワインも限定数のみで、輸入して数か月で完売してしまう希少品の数々です。



ジョン(父)&アレックス(息子)コングスガード

シャルドネ ナパ ヴァレー 2021 Chardonnay Napa Valley

小売価格 38,000 円 (税別)

ナパ・シャルドネの銘醸畑ハドソンとハイドをコングスガードが昇華させる。
華麗にして伸びやか一度味わったらやめられない逸品。

シャルドネ 100% 1996 年初リリースから現在まで造りつづけているこのワインは、カーネロスの類まれなる二人の栽培家「リー・ハドソン」と「ラリー・ハイド」が栽培する「ウエンテ・クローン」の究極のコラボレーションである。ナパ・ヴァレーの最南端、冷たいサン・パブロ湾からの霧と冷気の影響を多く受け、冷涼な気候で知られるカーネロスのナパ・ヴァレー側に位置する二つの有名な畑からこのワインは造られる。

天然酵母のみの樽醗酵・樽熟成（約2年）ノン・フィルター、人工的な清澄無しに瓶詰する。この手法から果実味と酸のバランスが究極に昇華した唯一無二の味わいが口いっぱいに広がる。フルゴーニュ・ムルソーやシャブリの一部の造り手のワインに現れる濃厚でフリンティ（火打石の香）な香りが顕著に表れるのがこのワインの特徴の一つ。

ハドソン・ヴィンヤードのオーナー・リー・ハドソンとジョン・コングスガードの二人は、UC Davis の学生時代からの長い付き合いであり、ジョンがニュートンのワインメーカーであった時には、今でこそよく言われる、重量で葡萄を買うのではなく、契約面積に対してお金を払い低収量の葡萄を栽培農家に栽培してもらったのはしりであった。実際にニュートン時代には 5t/エーカーを 2.5t までに落としたりしたという。現在も VTG 毎に綿密な打ち合わせの元、オーダーメイドで葡萄を買い付けている。そのやり方はハドソン・ヴィンヤードと他の多くのワインメーカーとの契約にも大きく影響し、現在のハドソン・ヴィンヤードの評価にも繋がっており、キスラー、パッツ&ホール、レイミーなどが、契約しオーダーメイドで葡萄をデザインし（収量、収穫のタイミングなど）、独自のトップ評価のシャルドネを造る。ハドソン・ヴィンヤード自身からも秀逸なシャルドネをリリースしている。

もう一つのハイド・ヴィンヤードは、ブルゴーニュのロマネ・コンティの共同オーナーであるヴィレーヌ氏のコラボ・ワイン「Hyde de Villaine, HdV」で有名であるとともに、こちらもキスラー、レイミー、パッツ&ホール、オーペールなどに葡萄を供給している。

下記の地図の様に、ハドソン、ハイドともナパ・カーネロスに位置するが、その味わいはそれぞれに個性的。セラーでまだブレンドする前の樽から二つのワインを試飲するとその個性の違いはあきらか。爆発的に濃厚な果実の中に緊張感のある酸が長い余韻を引くハドソンと、圧倒的なミネラル感とギューとした果実の凝縮感が素晴らしいハイド。ジョン・コングスガードがイメージを解説してくれた。ハドソンは味わいの横の部分が豊かなので上下に引き延ばすことをイメージし、ハイドは鋭角なので横の膨らみをイメージする。その絶妙なポイントでブレンドを仕上げるという。天然酵母のみで、区画毎に樽発酵。非常に涼しいセラーでは、醗酵が止まってしまうこともあるが、無理をさせずゆっくりと醗酵を待ち、一次発酵が終わるのが一年以上かかることもある。SO2 は極少量。1年目は1年使いの樽を使い、2年目は、2年使いの樽に移す。ブレンドは VTG によって違うが、ハドソンが約2/3、ハイドが1/3の割合。

2021 年ジョン・コングスガードからのコメント：クラシックなタンジェリン・オイルとクレーム・ブリュレを思わせる豊かなアロマに、マジパン（ココナッツと砂糖のお菓子）とネクタリンの風味が加わる。味わいは口中に大きく広がるが、行き過ぎてはいない。余韻は非常に長く、塩味も心地良く感じる。かつてロバート・パーカーがこのワインをナパのバトル・モンラッシェと呼んだことがある。

ハドソン・ヴィンヤーズ

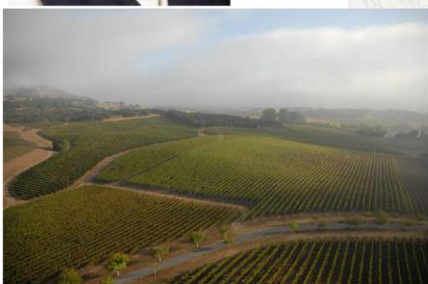
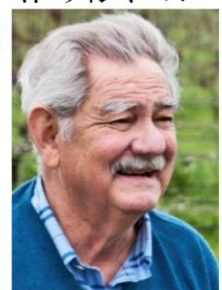
ハイド・ヴィンヤーズ



オーナー
リー・
ハドソン

Hudson Vineyards & Hyde Vineyards
ハドソン・ヴィンヤーズ & ハイド・ヴィンヤーズ
(カーネロス、ナパ・ヴァレー)

オーナー
ラリー・
ハイド



コングスガード

カリフォルニア・シャルドネの 5 本指と言え、コングスガード、オーバール、マーカッシン、キスラー、ピーター・マイケルと言われています。コングスガードの最高級シャルドネ「ザ・ジャッジ」は自社畑から造られるマニア垂涎の逸品であるが、その生産量は多くても 15 樽（約 300 ケースのみ）。少ない年は 5 樽（100 ケースのみ）しか造らない程の希少品。カーネロスの最高級畑の二つハドソン&ハイド・ヴィンヤードから造られるシャルドネ ナパ・ヴァレーも輸入早々に完売してしまう貴重品。

2020 年 8 月の終わりと 9 月後半に起きた 2 度の山火事によりナパ・ヴァレーは一部の地区で大きな被害を受け、コングスガードもアトラス・ピークの自社畑では被害を受け、すべての赤ワイン用葡萄の収穫をあきらめざるを得なかった。しかしながら、クームスヴィルの自社畑ジャッジ、カーネロスの契約畑ハドソン&ハイドは被害を逃れることができ、またジョン・コングスガードの人的コネクションにより被害の無かった地区の素晴らしい葡萄の供給を受けることができた。日本に輸入されるワインも限定数のみで、輸入して数か月で完売してしまう希少品の数々です。

ジョン・コングスガードが造るワインは、選び抜いたベストの区画から、極端なまでの低収量、天然酵母のみを使い、低温のセラーで長い時間をかけて醗酵を待つ。ノン・フィルター、ノン・ファイニング（人工的な清澄作業をしない）。今では当たり前のようと言われるが最新鋭の化学設備で行うのではなく、ほぼ手作業。リスクの大きな造り方である。眼鏡にかなう葡萄が出来なければそのワインを造らない。満足の行くクオリティーでなければ年により生産量が極端に変わる。自然によると言うよりも、ジョン・コングスガードのフィルターによりワインは造られていく。

シャルドネ ザ ジャッジ ナパ ヴァレー

2021 Chardonnay The Judge Napa Valley

小売価格 98,000 円（税別）

「カリフォルニア・シャルドネの中で最高峰であることは間違いない。このシャルドネは神の領域だ！」～ロバート・パーカーが残した有名な言葉～



僅か 3ha の岩がゴロゴロした自社畑はナパ・ヴァレーの東丘陵、クームスヴィルの丘の上にあり、今やマニア垂涎の逸品。生産量は多くても 15 樽（約 300 ケースのみ）。少ない年は 5 樽（100 ケースのみ）しか造らない程の希少品。

ジョン・コングスガードは、若かりし日に目指したクラシック音楽家としての将来を断念し、ナパ・ヴァレーに 5 世代続く稼業（土地に根差した農業、造園業、岩切り出し業）を家族と共に継いでいくことを妻・マギーと共に決断したのが 1970 年代。ナパ市街の東に位置し、2004 年にナパ・ヴァレーのサブ・アペラシオンに認定された Coombsville/クームスヴィル、アルタ・ハイツの山頂にある祖父が岩を切り出し販売する稼業を行っていた土地を開墾し、白品種の葡萄を植樹した。1975 年のことである。その当時隣人であった伝説の人アンドレ・チェリチェフ氏から「岩だらけで、遮るものもない丘の上、強い風が通るこの土地から、絶対無二のものが出来る」とのアドバイスを受けたからである。その畑は、20 年以上に渡りナパの高等裁判所の判事であった父に敬意を表し「The Judge Vineyard/ザ・ジャッジ・ヴィンヤード」と名付けられ、ここから伝説のワインが生み出される。

コングスガードを 1996 年に興すまでは、この葡萄はニュートン・ワイナリーで使われ、ジョン・コングスガードを「カリフォルニア最高峰のノン・フィルター・シャルドネの造り手」として世に知らしめたのにこの畑も一役買っている。1996 年コングスガードを興すやいなや、カリフォルニア・シャルドネの名手として高い評価を受ける。多くのワイナリーでワインメーカーを務め、多くの若いワインメーカーを育て上げ、現在はコングスガードに専念し、息子のアレックスと共に、もう一つの自社畑・特徴あるアトラス・ピークの急峻な斜面と山中の岩をくり抜いた非常に冷涼なセラーでこだわりのワインを造り続ける。クームスヴィル AVA はナパ・ヴァレーの中では南に位置し、冷たいサン・パブロ湾からの霧の影響を受け、非常に涼しい。その中でもザ・ジャッジ・ヴィンヤードは南のアルタ・ハイツの山頂付近にあり、岩ばかりの非常に痩せた、水はけの良い土壌、急斜面、非常に冷涼な為、収量は自然に落ち、更に厳しい収量調整を行う為、平均でも 1 トン/エーカー（20 hl/ha）程しかない。オールド・ウェンテ・クローンが使われている。天然の酵母のみ、フランス産新樽で醗酵、熟成を約 2 年行う。時には醗酵が 16 か月に及ぶこともある。セラーが冷涼な為、醗酵が止まってしまった樽にも人工酵母は決して使わず、他の活性している樽からワインを移して醗酵を促すこともある。ノン・フィルター、人工的な清澄は行わず、SO₂ の添加も極僅か。

2021 年ジョン・コングスガードからのコメント：1970 年代まで遡る古樹に残った 2.4ha の畑から、奇跡的に世界で唯一無二のワインを造り出している。それはいつも繰り返される「なぜなら」である。「どうしてワインはこれほど崇高なまでに繊細でありながら、同時に信じられないほど凝縮しているのだろうか？」畑の名前の由来である父がもし生きていたら今年は 101 歳になる。

The Judge Vineyard ザ・ジャッジ・ヴィンヤード (Coombsville, Napa Valley クームスヴィル、ナパ・ヴァレー)

The Napa Valley Appellation and its Sub-Appellations



左：ナパ・ヴァレー AVA マップ、赤い○が 2004 年に認定されたクームスヴィルの位置、ナパ市街地の東、涼しい南の地区。
中：クームスヴィル内にあるザ・ジャッジ・ヴィンヤードの位置
右：ワイナリー&自社畑のあるアトラス・ピークからザ・ジャッジの位置をジョン・コングスガードより聞く。



コングスガード

リスクーな方法＝葡萄の力を尊重し、厳しいまでの環境下で人力の介入を減らし、自然に任せる。完成形は少量のみ。

ジョン・コングスガードは、若かりし日に目指したクラシック音楽家としての将来を断念し、ナバ・ヴァレーに5世代続く稼業（土地に根差した農業、造園業、岩切り出し業）を家族と共に継いでいくことを妻・マギーと共に決断したのが1970年代。ナバ市街にほど近いCoombsville/クームスヴィルの山頂にある祖父が岩を切り出し販売する稼業を行っていた土地を開墾し、白品種の葡萄を植樹した。アンドレ・チェリチエフから「岩だらけで、遮るものもない丘の上、強い風が通るこの土地から、絶対無二のものが出来る」とのアドバイスを受けたからである。その畑は、判事であった父に敬意を表し“The Judge Vineyard/ザ・ジャッジ・ヴィンヤード”と名付けられ、ここから伝説のワインが生み出されることになる。1996年コングスガードとして初ヴィンテージをリリース。自社畑だけでなく、ナバ・ヴァレーの中でも最高の畑のオーナーたちと契約を結び、オーダーメイドで葡萄を注文する（低収量に制限する）ことを始めた第一人者である。ジョン・コングスガードが造るワインは、選り抜いたベストの区画から、極端なまでの低収量、天然酵母のみを使い、低温のセラーで長い時間をかけて醗酵を待つ。ノン・フィルター、ノン・ファイニング（人工的な清澄作業をしない）。今では当たり前と言われるが最新鋭の化学設備で行うのではなく、ほぼ手作業。リスクの大きな造り方である。眼鏡にかなう葡萄が出来なければそのワインを造らない。満足の行くクオリティーでなければ年により生産量が極端に変わる。自然によると言うよりも、ジョン・コングスガードのフィルターによりワインは造られていく。

カリフォルニア・シャルドネの5本指と言えば、コングスガード、オーペール、マーカッション、キスラー、ピーター・マイケルと言われています。

コングスガードの最高級シャルドネ「ザ・ジャッジ」は自社畑から造られるマニア垂涎の逸品であるが、その生産量は多くても15樽（約300ケースのみ）。少ない年は5樽（100ケースのみ）しか造らない程の希少品。カーネロスの最高級畑の二つハドソン&ハイド・ヴィンヤードから造られるシャルドネ ナバ・ヴァレーも輸入早々に完売してしまう貴重品。2020年8月の終わりと9月後半に起きた2度の山火事によりナバ・ヴァレーは一部の地区で大きな被害を受け、コングスガードもアトラス・ピークの自社畑では被害を受け、すべての赤ワイン用葡萄の収穫をあきらめざるを得なかった。しかしながら、クームスヴィルの自社畑ジャッジ、カーネロスの契約畑ハドソン&ハイドは被害を逃れることができ、またジョン・コングスガードの人的コネクションにより被害の無かった地区の素晴らしい葡萄の供給を受けることができた。日本に輸入されるワインも限定数のみで、輸入して数か月で完売してしまう希少品の数々です。



ジョン（父）&アレックス（息子）コングスガード



2021 Syrah Napa Valley

小売価格 60,000 円（税別）

冷涼シラーの代名詞「ハドソン・ヴィンヤードのシラー」をジョン・コングスガードが磨き上げる

カーネロスにあるハドソン・ランチ（ヴィンヤーズ）の中でも特別な区画(0.8ha)で、非常に涼しく、複雑な火山性土壌が入り混じる。コングスガード用に特別な栽培をオーダーメイドで依頼している。ナバ・ヴァレー・ベストの冷涼シラーは個性で複雑味があり、様々なスパイスのアロマが内包する。生産量 300-400 ケース程。

ハドソン・ヴィンヤードのオーナー・リー・ハドソンとジョン・コングスガードは、二人がUC Davisの学生時代からの長い付き合いであり、ジョンがニュートンのワインメーカーであった時には、今でこそよく言われる、重量で葡萄を買うのではなく、契約し面積に対してお金を払い低収量の葡萄を得ることを始めたはしりであった。実際にニュートン時代には5t/エーカーを2.5tまでに落としたりしたという。現在もVTG毎に綿密な打ち合わせの元、オーダーメイドで葡萄を買い付けている。そのやり方はハドソン・ヴィンヤードと他の多くのワインメーカーとの契約にも大きく影響し、現在のハドソン・ヴィンヤードの評価にも繋がっている。ルイス、アリエッタ、トアー（ロック・シラー）、ベドロックのモーガン・ピーターソンなどがトップ評価のシラーを造り、ハドソン・ヴィンヤード自身からもシラーをリリースしている。

ナバ・ヴァレーは冷たいサン・バプロ湾からの霧と冷気の影響を多く受ける南側が涼しく、ヴァレーの奥・北側へ行くほど暖かくなる。冷涼な気候で知られるカーネロスで栽培されるシラーは、果実爆弾のようになってしまうナバ北やパソ・ロブレのシラーと違い、またサンタ・バーバラで作られるシラーとも違う個性がある。

ハドソン・ヴィンヤードの南向き斜面から収量は2.5t/エーカー（40hl/ha）とプレミアムワインの適正量。ぎゅっと凝縮した果実は、甘さではなく、タンニンの緻密さがまとまり、よりスパイシーなハーブや胡椒のニュアンスが生み出される。秀逸な酸が全体を引き締めるのも大きな特徴である。

2021年ジョン・コングスガードからのコメント：1996年コングスガード設立以来、カーネロスの0.8haの区画からシラーを造り続けている。ザ・ジャッジが他のカリフォルニア・シャルドネに対して別格であるように、シラーもまた他とは一線を画している。動物的ニュアンス満載、風味豊か、独自の希少な個性を持ち、鴨やもっとワイルドなジビエと合わせたい。



オーナー・リー・ハドソン



冷涼でクラシック音楽が流れるセラーでゆっくりと熟成される。



コングスガード

NAPA VALLEY RED WINE
KINGS FARM

キングス・ファーム



歳を重ね風格を増す
ジョン・コングスガード氏

キングス・ファーム レッド・ワイン ナパ・ヴァレー 2020 KINGS FARM RED WINE Napa Valley

小売価格 18,000 円 (税別)

コングスガードより希少ワイン、メイリング・リストの重要顧客のみにリリースされていた
コングスガードのセカンド・セレクション「キングス・ファーム」

KINGS FARM/キングス・ファーム

KONGSGAARD/コングスガードは、オーナー・ジョン・コングスガードの苗字を冠したブランド。コングスガード家は5世代前に「ノルウェー」から移民し、ナパに根を張りました。コングスガードはノルウェー語、それを英語に訳すと「王の土地/農場」=King's Farm/キングス・ファーム。コングスガード・ブランドのセカンド・セレクションを造る時、英訳の「キングス・ファーム」と命名しました。

毎年リリースされず、良い年、豊作、ファースト・ブランドのコングスガードがセレクトされた後、リリースするに値するキュヴェがある時にのみリリースされますが、生産量は限られています。

シャルドネとレッド・ワインがありますが、2018 ヴィンテージはレッド・ワインのみ輸入ができませんでした。

2020 年のキングス・ファームは特別品。

2020 年 8 月の終わりと 9 月後半に起きた 2 度の山火事によりナパ・ヴァレーの一部の地区で大きな被害を受け、コングスガードもアトラス・ピークの自社畑では被害を受け、すべての赤ワイン用葡萄の収穫をあきらめざるを得なかった。しかしながら、クームスヴィルの自社畑ジャッジ、カーネロスの契約畑ハドソン&ハイドは被害を逃れることができ、またジョン・コングスガードの人的コネクションにより被害の無かった地区の素晴らしい葡萄の供給を受けることができた。キングス・ファームの赤ワインは通常アトラス・ピークの自社畑の葡萄を主体に作られるが、2020 年は特別な交渉で、貴重なハドソン・ヴィンヤードのカベルネ・ソーヴィニオンが入手でき、キングス・ファームとして特別にリリースされることになった。冷涼地でカベルネ・ソーヴィニオンがゆっくり、じっくり成熟される凝縮感と秀逸な酸がバランス。品種：カベルネ・ソーヴィニオン主体 畑：ハドソン・ヴィンヤードのカベルネ・ソーヴィニオン主体

キングス・ファームのラベル

コングスガードの祖先の出身地はノルウェーの東部の溪谷「ハリンダル/Hallingdal」であり、そこに現代まで残る希少な中世期に建てられたノルウェーを代表する木造の「トルボ・スターヴ教会/Torpo stave church」の内部の壁に 1225 年に描かれた王が騎乗する壁画をモチーフにしている。



ノルウェー東部にある希少な木造の教会



その内部に描かれた王の騎行進の壁画

品種：カベルネ・ソーヴィニオン主体（ヴィンテージによりシラー、カベルネ・フラン少々）
畑：ナパ・ヴァレーの南東端アトラス・ピークの標高が高く、涼しい火山性土壌の自社畑と同質の契約農家から。
醸造：コングスガードと全く同じ醸造方法。最終樽セレクションでコングスガードにならなかった樽を使う。
ヴィンテージによってはキングス・ファームにならない樽もある。それ程厳しいセレクションで造られる。
味わい：濃く凝縮しながらもシルクのようなきめ細かい口当たりを持ち、コングスガード・カベルネらしいパワフルながら、決してダレない、筋肉質でがっしりした酒質を十分に受け継いでいる。

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161 FAX:03-5829-6171